

山形県高校入試問題研究_001

1次関数(3番問題/20点配点)

2024. 8. 29 (木)

出題率100%, 配点20点, 難易度超ムズ

山形県公立高校入試問題の1次関数の指標です。
確実に出て、高配点で、超難しい問題です。
だから、学校での模試、外部模試にも必ず、高配点で、超むず問題として出題されます。

それなのに、1次関数を系統的に勉強している人はまずいない！
いないというより、何を勉強すればいいのかが分からないのですね。

山形県の過去問を勉強したらいいのか、あるいは、教科書の基本から学習したほうがいいのかわかりません。

また、どんな教材を使って学習したらいいのか、わかりません。
教科書など問題が少ないし、学校で使っている問題集でも山形県の入試にあっているのかどうかはわからないし、なんか首都圏の国立や有名私立の入試問題が入っているし…。

1次関数は勉強しなければならいことはわかっているけれども…というのが、中3の現在なのです。

そこで、これから、山形県公立高校入試1次関数対策のお話をしたいと思います。
必ず役立ちます。しっかり、学び取って日々の受験対策の学習に活かしてください。

何が出題されたのかを知ることから…

最初に、どんな問題が出たのかのお話です。
何が出たかがわからなければ、何を勉強すればいいのかわかるはずがありません。
出そうもない範囲(とレベル)の問題を完璧に解けるようになっても、そんなの出ないのですから、入試では得点できません。

(3+1)のジャンル

1次関数の入試問題では、頻繁に出題される3つのジャンル(下の【1】～【3】)とたまに出題される1つのジャンル(下の+α)があります。

【1】動点と面積(体積)の問題

+ α **直線と面積の問題**

直線のグラフに関するいろいろな問題です。面積を等分する直線の式を求めたり、直線自体は単純なので、反比例とか円とかの他の単元との融合問題として出題されます。

分析の根拠

なお、上の出題内容の分析は、過去50年間に山形県公立高校入試に出題された問題を、数専ゼミが独自に分析したものです。

以降、1つずつジャンルの詳しい内容を見ていきます。

単元全体の出題問題分析表

全単元の出題頻度、配点、難易度についてのデータは、下のLinkからご覧いただけます。50年分の出題内容を分析してあります。

→ Link: | [山形県公立高校入試出題問題分析 MENU](#) |
(ブラウザの「戻る」ボタンでここへ戻れます。)

1次関数の受験対策授業

数専ゼミで通常授業で使う教材も、すべてこの入試の出題傾向にそって構成されており、中2から学校の勉強をしながらそれが同時に入試対策の勉強になるようになっております。

また、3年生の受験対策基礎学習として、このプログラムを学習することができます。無駄のない”ねらいうち”ができます。1次関数20点満点をねらう「基礎」学習です。

→ Link: | [数専ゼミ 中学数学 MENU](#) | 中学2年・1次関数 [記録](#)
(ブラウザの「戻る」ボタンでここへ戻れます。)

山形県入試(数学)情報日本一の数専ゼミの数学教室です

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp